

科目名 (英)	保育原理 Nursery School Instruction Research	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	森 静子
		授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 3限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
長年の保育所勤務を通し、現場と専門知識をつなぐ学びが重要と保育者養成に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、保育の本質や目的、制度や歴史、保育の現状について学ぶ基礎的な科目である。保育所保育指針をもとに、今の子どもや家庭の様子などをタイアップさせながら実践的に理解を深めていく。							
【到達目標】							
・保育に関する法令及び制度を理解し、保育の基礎・基本理念、意義および目的について理解することができる。 ・保育所保育指針における保育の基本について理解し、保育の在り方や保育者の役割について理解することができる。 ・保育の歴史的変遷や思想を学ぶとともに、保育の現状や課題について考えることができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領<原本>」チャイルド本社				【授業外における学習】 教科書の担当する章を予習し発表準備をする。自らの理解と疑問を意識するとともに、保育者としての指導力を高める。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 保育の理念と概念について考え、話し合い、理解することができる。 【授業内容】 オリエンテーション、保育の理念と概念			9	【到達目標】 1歳以上3歳未満児の保育における基本的事項、保育の実施にかかわる配慮を理解することができる。 【授業内容】 1歳以上3歳未満児の保育		
2	【到達目標】 保育所が果たす社会的な意義と役割、責任について理解することができる。 【授業内容】 保育の社会的役割と責任			10	【到達目標】 3歳以上児の保育の基礎を理解し幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)を保育の場面と繋げてイメージできる。 【授業内容】 3歳以上児の保育		
3	【到達目標】 子ども・子育て支援制度の概要と保育に関わる関係法令を理解することができる。 【授業内容】 子ども・子育て支援制度と保育にかかわる関係法令 施設型保育、地域型保育、地域・子ども子育て支援事業について			11	【到達目標】 保育における計画の重要性と種類、作成における観点について理解する。 【授業内容】 子ども理解に基づく保育の過程①理論編		
4	【到達目標】 支給認定の内容と利用できる保育施設について理解することができる。 【授業内容】 保育の実施体系			12	【到達目標】 保育実践記録の活用方法を保育の現場をイメージしながら理解できる。長期指導計画と短期指導計画作成の流れを理解できる。 【授業内容】 子ども理解に基づく保育の過程②実践編		
5	【到達目標】 保育所保育指針とは何か、内容と制度的位置づけを理解することができる。 【授業内容】 保育所保育指針に基づく保育			13	【到達目標】 諸外国と日本の保育の思想と歴史について関心を持ち、思想と実践を結びつけて理解できる。 【授業内容】 諸外国の保育の思想と歴史 日本の保育の思想と歴史		
6	【到達目標】 保育の目標と方法の内容を理解することができる。乳幼児期の「遊び」と小学校以降の「学び」の関連を考え、理解することができる。 【授業内容】 保育の目標と方法			14	【到達目標】 諸外国と日本の保育の現状と課題を理解し、課題のなかで自分ができることを見つめる。 【授業内容】 諸外国の保育の現状と課題 日本の保育の現状と課題		
7	【到達目標】 乳児保育にかかわるねらいと内容を理解できる。子育てを支援する重要性について考え理解を深めることができる。 【授業内容】 乳児の保育			15	【到達目標】 これまでの授業を振り返り問題に答えることができる。 わからない問題を整理し自分の学習課題を見つけることができる。 【授業内容】 第9回～第14回の中間試験と解答解説		
8	【到達目標】 これまでの授業を振り返り問題に答えることができる。 わからない問題を整理し自分の学習課題を見つけることができる。 【授業内容】 第1回～第7回の中間試験と解答解説			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する ○成績評価 点数100～90＝A評価 点数 89～80＝B評価 点数 79～70＝C評価 点数 69～60＝D評価 点数 59点以下＝F 評価 ※出席が70％に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 毎回の授業で必要に応じて保育所保育指針ハンドブックを使用する。							

科目名 (英)	社会福祉 Trainig for nursery staff	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	森 静子
		授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 2限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 長年の保育所勤務を通し、現場と専門知識をつなぐ学びが重要と保育者養成に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は社会福祉の意義と歴史の変遷、制度や実施体系について学ぶ。また、相談援助、利用者の保護に関わる仕組みについても理解し、現代社会の動向や課題について主体的に考察する視点を養う。							
【到達目標】 1. 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。 2. 社会福祉の制度や実施体系等について理解する。 3. 社会福祉における相談援助について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】 授業を受けるに当たり、専門用語の下調べなどの予習や授業後の復習を行い、授業内容を深く理解する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 社会福祉がどのように成立し、どのような理念で実践され、私たちの生活に根ざしているか理解する。 【授業内容】 社会福祉の理念と歴史の変遷			9	【到達目標】 相談援助の対象や援助過程を学び、援助者として必要な態度や姿勢を理解する。 【授業内容】 相談援助の対象と過程		
2	【到達目標】 社会福祉がどのように成立し、どのような理念で実践され、私たちの生活に根ざしているか理解する。 【授業内容】 社会福祉の理念と歴史の変遷			10	【到達目標】 保育現場における相談援助の個々の方法と技術について理解する。 【授業内容】 相談援助の方法と技術		
3	【到達目標】 社会福祉がどのように成立し、どのような理念で実践され、私たちの生活に根ざしているか理解する。 【授業内容】 社会福祉の理念と歴史の変遷			11	【到達目標】 権利擁護や苦情解決の仕組みを学び、第三者評価や情報公開などサービスの質を担保する仕組みを理解する。 【授業内容】 社会福祉における利用者の保護にかかわるしくみ		
4	【到達目標】 社会福祉がどのように成立し、どのような理念で実践され、私たちの生活に根ざしているか理解する。 【授業内容】 社会福祉の理念と歴史の変遷			12	【到達目標】 我が国の少子高齢化の現状を知り、少子化対策の展開と保育所の役割を理解する。 【授業内容】 少子高齢化社会における子育て支援		
5	【到達目標】 社会福祉分野(対人援助)における専門職の役割を学び、関係職種や地域との連携の大切さについて理解する。 【授業内容】 社会福祉の専門職			13	【到達目標】 我が国の障害者の現状や地域福祉の考え方から保育士に期待される役割について理解する。また先進諸国の歴史と動向を知る。 【授業内容】 障害者施策、在宅福祉・地域福祉の推進		
6	【到達目標】 社会保障制度の概要を学び、子育て世代とそれを支える仕組みについて理解する。 【授業内容】 社会保障および関連制度の概要			14	【到達目標】 これまでの授業で得た知識を定着させるために、内容をふりかえる。 【授業内容】 社会福祉概要		
7	【到達目標】 保育士が子どもの家族とかかわる際に用いる相談援助の理論について理解する。 【授業内容】 相談援助の理論			15	【到達目標】 授業で学んだことを踏まえ、問題に答えることができる。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 相談援助の意義と機能について学び、専門職としての「相談援助」とは何かを理解する。 【授業内容】 相談援助の意義と機能			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育者論 Nursery teacher theory	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	上條 友葉 海老原 孝一
		授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 1限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育士・幼稚園教諭としての実務経験を有し、現場及び本校において実習指導に携わる経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、保育者としての専門性を知り、役割や倫理について学ぶ科目である。担当教員の幼稚園教諭、保育士としての現場経験を活かしながら、実際の保育園での活動を振り返りつつ、保育の専門性等を学べるように授業を展開していく。授業で学ぶことを、これから保育者を目指す自分自身のこととして捉え、考えを深めていけるよう、グループワーク等も含めながら授業を展開する。							
【到達目標】							
・保育者の役割と倫理、保育士の制度的な位置づけを理解し、専門性について考察することができる。 ・保育者の連携、協働について理解することができる。 ・保育者の資質向上とキャリア形成について理解することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(チャイルド社)/登園ファイル(黄)				保育現場での学びに備えた事前事後の課題を期日を守り取り組むこと。 健康管理・身だしなみや清潔面を特に意識し保育学生としての身構えを整えること。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 保育者の役割と倫理、制度的な位置づけを理解し、専門性について考察しまとめることができる。 【授業内容】 保育者の役割 保育者の倫理			9	【到達目標】 子どもと関わる保育者の姿から学び、自身の次の課題を見出しまとめることができる。 【授業内容】 中間テスト(エピソード記録の提出) 保育の実践と省察・評価		
2	【到達目標】 保育者の役割と倫理、制度的な位置づけを理解し、専門性について考察しまとめることができる。 【授業内容】 保育者の職務・教務 児童福祉法における保育士の定義			10	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日⑥「おいしいね嬉しいね」の振り返り (養護及び教育の一体的展開・保育者の連携)		
3	【到達目標】 保育者の資質能力、専門性について考察しまとめることができる。 【授業内容】 保育士の資質能力 養護及び教育の一体的展開・保育の資質向上			11	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日⑦「おいしいね嬉しいね」の振り返り (養護及び教育の一体的展開・保育者の連携)		
4	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日①「なかよしになろうね」の振り返り (保育士の専門性・子ども理解の視点)			12	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日⑧「安全と安心の環境」の振り返り (保育の実践と省察・評価/保育者の専門性)		
5	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日②「なかよしになろうね」の振り返り (保育士の専門性・子ども理解の視点)			13	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日⑨「季節の保育」の振り返り (計画に基づく保育の実践と省察・評価)		
6	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日③「楽しい遊びを見つけよう」の振り返り (保育士の役割・遊びと保育)			14	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日⑩「季節の保育」の振り返り・制作 (計画に基づく保育の実践と省察・評価)		
7	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日④「楽しい遊びを見つけよう」の振り返り (保育士の役割・遊びと保育)			15	【到達目標】 保育者の資質向上とキャリア形成について理解することができる。 【授業内容】 定期試験「保育園パンフレット作成」 保育者の資質向上とキャリア形成		
8	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日⑤「保育士のお仕事」の振り返り (保育者の連携・協働/ エピソード記録の書き方)			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育の心理学 Psychology of the childcare	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	田島 葵
学科・コース	保育士科	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 金曜 1限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
公認心理師として、発達障害児への個別療育やソーシャルスキルトレーニング、保護者への相談支援、スクールカウンセラー等の心理的支援に携わっている。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目を通じて、保育実践にかかわる心理学の知識や発達の基本原理について、体系的に学習する。省察やグループワークの機会を設ける中で、一人ひとりが自己理解と他者理解を深化させ、保育臨床場面での素養を醸成してほしい。							
【到達目標】							
1. 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。 2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。 3. 子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「新基本保育シリーズ⑧保育の心理学」中央法規				【授業外における学習】 心理学の専門的用語がでてくるので、予め教科書を読み、予習をしてくること。分からない用語は、ネット検索を用いて調査してもよい。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 保育と心理学の概要、子どもの発達、保育実践、評価法について理解することができる。 【授業内容】 オリエンテーション 1. 発達を捉える視点			9	【到達目標】 認知機能について学び、知覚と認知の発達について理解することができる。 【授業内容】 2-3. 認知の発達		
2	【到達目標】 乳幼児期の心身の発達を学び、子どもの発達とその意義を理解することができる。 【授業内容】 1-1. 子どもの発達を理解することの意義			10	【到達目標】 言語機能について学び、言葉と社会性の発達について理解することができる。 【授業内容】 2-4. 言語の発達		
3	【到達目標】 子ども相互のかかわりや関係づくりについて学び、子ども集団の特性について理解することができる。 【授業内容】 1-2. 子どもの発達と環境			11	【到達目標】 保育実践における生活や遊びを通した学びの過程の概要を理解することができる。 【授業内容】 3. 子どもの学びと保育		
4	【到達目標】 各種の発達理論を学び、保育実践で求められる子ども観、保育観を理解することができる。 【授業内容】 1-3. 発達理論と子ども観・保育観			12	【到達目標】 行動主義と認知主義、乳幼児期の生活と学び、遊びと学びの諸理論を理解することができる。 【授業内容】 3-1. 乳幼児期の学びに関わる理論		
5	【到達目標】 子どもの初期経験について学び、生涯発達と発達援助の概要を理解することができる。 【授業内容】 2. 子どもの発達過程			13	【到達目標】 乳幼児期の認知的学び・社会/情動的学び、基本的生活習慣の獲得を理解できる。 【授業内容】 3-2. 乳幼児期の学びの過程と特性		
6	【到達目標】 感情と自我の発達を学び、他者とのかかわり、社会的相互作用を理解することができる。 【授業内容】 2-1. 社会情動的発達			14	【到達目標】 乳幼児期から学童期における発達と学びの連続性、就学支援を理解することができる。 【授業内容】 3-3. 乳幼児期の学びを支える保育		
7	【到達目標】 身体的機能と運動機能の発達を学び、身体感覚をともなう多様な経験と環境との相互作用を理解することができる。 【授業内容】 2-2. 身体的機能と運動機能の発達			15	【到達目標】 これまでの授業で学習したことをもとに、問題に答えることができる。分からない問題を洗い出し、自分の課題を見つけることができる。 【授業内容】 定期試験、解答解説		
8	【到達目標】 これまでの授業を振り返り学習を深め、問題に答えることができる。分からない問題を洗い出し、自分の課題を見つけることができる。 【授業内容】 これまでの授業の振り返り、中間試験、解答解説			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数 100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 板書したこと等は必ずメモをとること。							

科目名 (英)	子どもの保健 Health care for infant	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	皆川 紘子
		授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分	前期
学科・コース	保育士科					曜日・時間	木曜 1限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 救急看護認定看護師として新生児・乳児・幼児の看護に携わり、虐待対応や保護者対応、保育園へ訪問し保育士に対する指導などに携わっている。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 現場での経験と知識を生かし、保育士として子どもの健康の保持増進に必要な知識や技術の基礎を習得するための講義を行う。安心で安全が保障される保育を実施するために、子どもの命を預かる重要性和責任を自覚し、理解を深めてほしい。							
【到達目標】 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義、子どもの身体的な発育・発達と保健、子どもの心身の健康状態とその把握の方法、子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】 医療専門用語や難しい内容も多いので事前学習や予習をして講義を受け、毎回の「小テスト」を繰り返し行い学習内容の定着を目指して下さい。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 子どもの心身の健康と保健の意義を学び理解することができる。 【授業内容】 子どもの保健活動の意義と目的 健康指標 子どもの保健の現状と課題			9	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 感染予防		
2	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 成長発達の一般的原则			10	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 子どもに多い感染症とその対処		
3	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 形態的発達			11	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 集団生活における感染症発症時の対処		
4	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 運動機能の発達			12	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 予防接種		
5	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 精神機能の発達			13	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 その他の急性・慢性疾患とその対処		
6	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 生理的機能の発達			14	【到達目標】 児童虐待について学び理解することができる。 【授業内容】 児童虐待の定義・予防・対処		
7	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 発育評価			15	【到達目標】 授業の内容の理解を深め定着することができる。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 子どもが病気にかかりやすい理由 中間試験			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
【特記事項】 授業内容により実技の追加や複数回で学習する内容に関しては変更もあるため授業コマシラバスを参考にしてください。							

科目名 (英)	保育内容演習 Seminar for Contents of Early Childhood Care and Education	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	上條 友葉
	学科・コース 保育士科	授業 形態	演習	総単位 時間	60	開講区分 曜日・時間	前期 火曜 2・3限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育士・幼稚園教諭としての実務経験を有し、現場及び本校において実習指導に携わる経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、子どもの発達に必要な活動について、学生自身が保育園へ登園し実際に子どもの姿から保育を学ぶ科目である。学生はこの授業から保育の理解を深め、現場力を身につけて欲しい。また、グループワークを通じて保育現場で必要な相互理解の力を養って欲しい。							
【到達目標】 ①総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 ②保育所保育指針における乳児保育の3つの視点と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域を通して捉え、保育の内容について具体的に理解する。 ③子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えるとともに、保育士が留意、配慮すべき事項を理解する。 ④環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程の実際について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 幼児期までの子どもの育ちに係る基本的なビジョン 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(チャイルド社)/登園ファイル(黄)				【授業外における学習】 保育現場での学びに備えた事前事後の課題を期日を守り取り組むこと。 健康管理・身だしなみや清潔面を特に意識し保育学生としての身構えを整えること。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 週1登園の目的と目標を知る。 必要な事前準備を整えることができる。 【授業内容】 オリエンテーション 「保育園ってどんなところ？」スケジュールと評価の確認			9	【到達目標】 これまでの登園授業で特に印象に残ったエピソードをまとめ、他者と共有することができる。仲間の発表から気付き、記録に残すことができる。 【授業内容】 中間テスト(エピソード記録の提出) 学びと気づきの分かち合い		
2	【到達目標】 週1登園の目的と目標を知る。 必要な事前準備を整えることができる。 【授業内容】 オリエンテーション 「連携園講師による保育園紹介」			10	【到達目標】 保育現場における子どもの食の場面にに関わり、養護及び教育の一体的展開について気づきをまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑥「おいしいね嬉しいね」		
3	【到達目標】 週1登園の目的と目標を知る。 必要な事前準備を整えることができる。 【授業内容】 オリエンテーション「しっかり整えよう 身構え気構え心構え」 記録の取り方残し方・事前打ち合わせ			11	【到達目標】 保育現場における子どもの食の場面にに関わり、養護及び教育の一体的展開について気づきをまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑦「おいしいね嬉しいね」		
4	【到達目標】 子どもとの出会いを喜び、関わりから気づきを得ることができる。 関わりの上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日①「なかよしになろうね」			12	【到達目標】 保育環境や保育現場での取り組みから子どもを守る仕組み、安全を保持するための心構えについて知りまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑧「安全と安心の環境」		
5	【到達目標】 子どもとの出会いを喜び、関わりから気づきを得ることができる。 関わりの上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日②「なかよしになろうね」			13	【到達目標】 季節ならではの保育環境や生活と遊びの様子に気付く。保育の具体的な実践をまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑨「季節の保育」		
6	【到達目標】 子どもとの関わりを楽しみ、遊びを通して気づきを得ることができる。 保育者として関わる上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日③「楽しい遊びを見つけよう」			14	【到達目標】 季節ならではの保育環境や生活と遊びの様子に気付く。保育の具体的な実践をまとめることができる。 【授業内容】 登園日「季節の保育」		
7	【到達目標】 子どもとの関わりを楽しみ、遊びを通して気づきを得ることができる。 保育者として関わる上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日④「楽しい遊びを見つけよう」			15	【到達目標】 週1登園を振り返り、これまでの気づきをまとめ言葉にして共有することができる。自身の次の課題を見つけまとめることができる。 【授業内容】 定期試験「週1登園 振り返りプレゼンテーションの提出」		
8	【到達目標】 子どもと関わる保育者の姿に注目し、言葉かけや立ち居振る舞い、対応からの気づき得てまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑤「保育士のお仕事」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育内容の理解と方法 Understanding and method for Childcare contents	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	さいたま市私立保育園協会 /上條 友葉
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 火曜 1限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
さいたま市私立保育園協会に所属し、保育実務歴5年以上を有する。/保育士・幼稚園教諭としての実務経験、本校における現場実習指導の経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、学生が各保育所の現場に赴き、各保育所の特色や保育の取り組みについて実践を通して学び、保育職と子どもの理解に繋がる事を目的とした科目である。授業毎の課題を基に行った実践を振り返り、各保育所で得てきた学びをディスカッションを通して共有し、各々の保育に対する理解を深めていく。							
【到達目標】							
・保育現場の実際や実態を学び、保育の基本や保育者の役割を理解することができる。 ・子どもの発達や保育の環境、内容を理解したうえで、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 ・保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(チャイルド社)/登園ファイル(黄)				【授業外における学習】 保育現場での学びに備えた事前事後の課題を期日を守り取り組むこと。 健康管理・身だしなみや清潔面を特に意識し保育学生としての身構えを整えること。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 週1登園の目的と目標を知る。 必要な事前準備を整えることができる。 【授業内容】 オリエンテーション 「保育園ってどんなところ？」スケジュールと評価の確認			9	【到達目標】 これまでの登園授業で特に印象に残ったエピソードをまとめ、他者と共有することができる。仲間の発表から気づき、記録に残すことができる。 【授業内容】 中間テスト(エピソード記録の発表) 学びと気づきの分かち合い		
2	【到達目標】 週1登園の目的と目標を知る。 必要な事前準備を整えることができる。 【授業内容】 オリエンテーション 「連携園講師による保育園紹介」			10	【到達目標】 保育現場における子どもの食の場面に関わり、養護及び教育の一体的展開について気づきをまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑥「おいしいね嬉しいね」		
3	【到達目標】 週1登園の目的と目標を知る。 必要な事前準備を整えることができる。 【授業内容】 オリエンテーション「しっかり整えよう 身構え気構え心構え」 記録の取り方残し方・事前打ち合わせ			11	【到達目標】 保育現場における子どもの食の場面に関わり、養護及び教育の一体的展開について気づきをまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑦「おいしいね嬉しいね」		
4	【到達目標】 子どもとの出会いを喜び、関わりから気づきを得ることができる。 関わりの上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日①「なかよしになろうね」			12	【到達目標】 保育環境や保育現場での取り組みからこどもを守る仕組み、安全を保持するための心構えについて知りまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑧「安全と安心の環境」		
5	【到達目標】 子どもとの出会いを喜び、関わりから気づきを得ることができる。 関わりの上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日②「なかよしになろうね」			13	【到達目標】 季節ならではの保育環境や生活と遊びの様子に気付く。保育の具体的な実践をまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑨「季節の保育」		
6	【到達目標】 子どもとの関わりを楽しみ、遊びを通して気づきを得ることができる。 保育者として関わる上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日③「楽しい遊びを見つけよう」			14	【到達目標】 季節ならではの保育環境や生活と遊びの様子に気付く。保育の具体的な実践をまとめることができる。 【授業内容】 登園日「季節の保育」		
7	【到達目標】 子どもとの関わりを楽しみ、遊びを通して気づきを得ることができる。 保育者として関わる上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日④「楽しい遊びを見つけよう」			15	【到達目標】 週1登園を振り返り、これまでの気づきをまとめ言葉にして共有することができる。自身の次の課題を見つけまとめることができる。 【授業内容】 定期試験「週1登園 振り返りプレゼンテーションの発表」		
8	【到達目標】 子どもと関わる保育者の姿に注目し、言葉かけや立ち居振る舞い、対応からの気づき得てまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑤「保育士のお仕事」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	乳児保育Ⅰ Infant nursing Care Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	平岡 麻依子
	学科・コース	保育士科	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
公立保育所に長年勤務し、0歳児から5歳児までの保育に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目では、講師のもつ数多くの事例の中から、リアルな講義を行う。3歳未満児の養護と教育が一体となった保育の基本や、発達の特徴を捉えた、遊びや生活の支援や保育者の役割を理解する。家庭との連携の大切さを知り、家庭支援の重要性にも気づいてほしい。乳幼児期は、子どもの土台となる大事な時期であることを理解し、一人ひとりと向き合うことの大切さ、保育士の存在の大きさを感じてもらいたい。							
【到達目標】							
・乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割について理解する。 ・保育所・乳児院など多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 ・3歳未満児の発育・発達をふまえた保育の内容と運営について理解する。 ・乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
令和5年度最新版 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン／幼稚園教育要領／保育所保育指針／幼保連携型認定こども園教育・保育要領(チャイルド社)							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 乳児保育を学ぶ心構えができる。乳児保育の歴史の変遷と、現在の役割を理解することができる。 【授業内容】 授業オリエンテーション。乳児保育とは何かを理解し、乳児保育に必要な基本的な知識を知る。			9	【到達目標】 健康維持と安全確保の基本を理解することができる。 【授業内容】 感染症対策、事故防止の基本。		
2	【到達目標】 発達段階を理解し、それに応じた保育の基本を理解することができる。 【授業内容】 乳児の発達理論、月齢別の特徴と支援。			10	【到達目標】 栄養と食事の重要性を理解することができる。 【授業内容】 月齢別の食事内容と支援。		
3	【到達目標】 生活リズムに合わせた環境設定の重要性を理解することができる。 【授業内容】 睡眠・食事・排泄の基本と環境作り。			11	【到達目標】 乳児の健全な睡眠習慣の形成を支援する方法を理解することができる。 【授業内容】 乳児の睡眠環境と安定した生活リズムの支援方法。		
4	【到達目標】 信頼関係の重要性と具体的な関わり方を理解することができる。 【授業内容】 愛着形成の理論と実践。			12	【到達目標】 発達を適切に評価し、記録する方法を理解することができる。 【授業内容】 個人の記録の取り方、目標の考え方を学ぶ。		
5	【到達目標】 安全で適切な抱っこ・おんぶの方法を習得することができる。 【授業内容】 抱っこ・おんぶの実技演習。			13	【到達目標】 スキンシップの重要性を知り、ふれあい遊びを習得することができる。 【授業内容】 ふれあい遊びの実践演習。		
6	【到達目標】 衛生的でスムーズなおむつ替えの技術を習得することができる。 【授業内容】 おむつ替えの実技演習。			14	【到達目標】 授業の振り返りができる。 【授業内容】 実技試験(抱っこ・おんぶ・おむつ替え)		
7	【到達目標】 発達を促す遊びの重要性と方法を理解することができる。 【授業内容】 発達段階に応じた遊びの紹介と実践。			15	【到達目標】 授業の振り返りができる。 【授業内容】 定期試験(筆記)		
8	【到達目標】 ここまでの授業の振り返りができる。 【授業内容】 中間試験(筆記試験)			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	図工 Arts and crafts education	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	川口 麗
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 月曜 1・2限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
美術科修士課程修了。美大予備校、カルチャー教室、自宅アトリエ、幼稚園アート教室にて、大人や子どもの創作活動に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、子どもの表現力や創造力を育むための基礎知識を学ぶ制作演習である。 美術教育の立場から、現状や観点を伝える。							
【到達目標】							
・発達段階に応じた絵画造形の基礎を学び、創作活動を適切に指導する技術を身に付ける。 ・材料や画材の知識を深め、表現に適した選択ができる。 ・表現の楽しさを学び、伝えることができる。他者の表現に寄り添うことができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 教員の指示に従い準備をすること(スケッチブック、画材など)				【授業外における学習】 想像力を広げたい。日常の中で興味深く観察する視点を持ち制作に活かす。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 授業の進行方法、評価基準を理解する。 子供の表現と保育士の関わりを把握する。 【授業内容】 講義、演習「自己紹介カード記入」			9	【到達目標】 偶然性の美と技法について知る。 【授業内容】 演習「技法研究②デカルコマニー・ドリップング・糸引き」		
2	【到達目標】 色の特徴を知る。 【授業内容】 演習「色の三原色」			10	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習「技法研究③スクラッチ」		
3	【到達目標】 効果的な色の配置を知る。 【授業内容】 演習「補色・同系色」			11	【到達目標】質の違いから生まれる美への意識を深め、技法を知る。 【授業内容】 演習「技法研究④パチック・フロッタージュ」		
4	【到達目標】 色の効果・性質・種類を知る。 【授業内容】 演習「暖色・寒色・その他の色」			12	【到達目標】 イメージを様々なパーツと組み合わせ、一つの世界を表現する。 【授業内容】 演習「技法研究⑤コラーージュ」		
5	【到達目標】 描画表現の基礎を知る。 【授業内容】 演習「静物デッサン」			13	【到達目標】 美しく見やすい文字のデザイン性について、演習を通して知る。 【授業内容】 演習「技法研究⑥レタリング」		
6	【到達目標】 人体における描画表現の基礎を知る。 【授業内容】 演習「人体デッサン」			14	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習「技法研究⑦スチレン版画」		
7	【到達目標】 描画表現に必要な要素、伝え方を知る。 【授業内容】 演習「情景描写」			15	【到達目標】 配色の効果と画面構成について知る。 【授業内容】 演習「版画印刷」		
8	【到達目標】 偶然性の美と意図的な線を組み合わせ表現する。 【授業内容】 演習「技法研究①スタンピング・バブルアート・マスキング」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 他者の表現に興味を持ち観察してみよう。							

科目名 (英)	音楽 Music	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	浅子 元・柿沼 秀子
学科・コース	保育士科	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 月曜 1・2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 保育士養成校にて23年のピアノ・音楽指導を行う。また保育園にてリトミック指導を15年行う。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 長年の音楽(ピアノ)教育の経験から、ピアノ・歌唱のほか、リトミック、打楽器演奏、オペレッタを2002年から専門学校にて指導している。 本科目は、音楽的基礎力(楽典)に注力し保育者として必要とされる音楽技術を学ぶ。基本、毎回の授業でピアノの練習とレッスンをを行う。バイエルピアノ教則本の50番までを仕上げるとともに、音楽の基礎知識(楽典)の理解を深め、保育現場で必要となる音楽技術を身につける。また、音楽の楽しさや魅力を伝えるための指導法を学ぶ。							
【到達目標】 ・保育者、教育者として必要な基礎的な音楽の技術と理論を習得する。 ・「ピアノを使って楽しく音楽が指導できる人を養成する」を授業の目標とする。 ・バイエルピアノ教則本50番まで習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「こどものうた200」チャイルド社 ・「標準バイエルピアノ教則本」全音楽譜出版社				【授業外における学習】 必要な事項は次回の授業までに充分習得しておくことを求めます。ピアノは毎日少しでも練習を積むことが必要です。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 オリエンテーションを行い年間の到達目標を理解する。 【授業内容】 年間に到達目標を理解する。ト音記号・ヘ音記号の読み方に慣れる。音楽課題曲リストの使用法を理解する。			9	【到達目標】 コード・ネームによる伴奏付けが出来る。生活の歌「おかたづけ」の習得。 【授業内容】 コード・ネーム(C, F, G)が理解でき伴奏付けが出来るようになる。生活の歌「おかたづけ」の練習。「あめふりくまのこ」。		
2	【到達目標】 季節の歌の歌唱、楽典の重要性について。 【授業内容】 「めだかのがつこう」が歌える。コード・ネームの基本を学習する。「こいのぼり」。			10	【到達目標】 コード・ネームによる伴奏付けが出来る(応用編)。生活の歌「おかたづけ」の習得。 【授業内容】 コード・ネーム(C, F, G)が理解でき伴奏付けが出来るようになる。「あめふりくまのこ」、「たなばたさま」。		
3	【到達目標】 ピアノ曲の習得、コード・ネームの基礎。 【授業内容】 ピアノ曲を1曲弾くことが出来る。コード・ネームの基本を学習する。「おかあさん」。			11	【到達目標】 コード・ネームによる伴奏付けが出来る(応用編)。生活の歌「おべんとう」の習得。 【授業内容】 コード・ネーム(C, F, G, D, A)が理解でき伴奏付けが出来るようになる。「たなばたさま」、「うみ」。		
4	【到達目標】 楽典(楽譜の理解)。 【授業内容】 楽典「大譜表」「音名」が理解できる。「ぶんぶんぶん」。			12	【到達目標】 前期定期試験の準備を始める。生活の歌「おかえりのうた」の習得。 【授業内容】 前期試験を展望したピアノ曲の習得。「おつかいありさん」、「シャボン玉」。		
5	【到達目標】 楽典、保育活動における「生活の歌」の理解。 【授業内容】 楽典「大譜表」「音名」が理解できる。「はをみがきましょう」。			13	【到達目標】 季節の歌(夏)を習得し、1曲弾き歌いが出来る。 【授業内容】 季節の歌「夏」の習得、弾き歌い。定期試験の試験曲を決める。「おかげなでなで」。		
6	【到達目標】 楽典、保育活動における「生活の歌」の理解。 【授業内容】 楽典「大譜表」「音名」が理解できる。「かわいいかくれんぼ」。			14	【到達目標】 前期定期試験の準備とリハーサル。 【授業内容】 前期定期試験のピアノ曲と弾き歌い曲の練習と習得。「アイスクリームのうた」。		
7	【到達目標】 生活の歌、打楽器の奏法理解。 【授業内容】 打楽器の正しい演奏法が分かる。「かたつむり」。			15	【到達目標】 定期試験を行い、前期の到達度を理解する。 【授業内容】 前期で学習したピアノ曲1曲と、季節の歌ピアノ演奏の計2曲を演奏する。		
8	【到達目標】 中間試験を行い、前期前半の到達度を理解する。 【授業内容】 前期前半部の目標が達成できている(ピアノと楽典)。「音名とコードネーム」の理解ができる。「すてきなパティ」、「とけいのうた」。			【評価について】 実技試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	英会話	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	海老原 孝一
	English Conversation	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 金曜 2限
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】 公立の小中学校で教育職員をした後、海外の日本人学校や幼稚園で18年間教育・運営に携わり、帰国後、2017年から東京福祉専門学校で保育科の学生を指導、2023年からは埼玉福祉保育医療専門学校の保育科で英会話(2025年度は夜間の教育原理も)の授業を担当している。							
【授業の学習内容】 簡単な日常英会話や保育園・幼稚園で使われる英会話、英語のゲーム、バイリンガル絵本の制作、英語劇、英語の歌と合唱、季節の行事(クリスマス等)、英語のパンフレット作り、海外の保育・幼児教育について、シュタイナー教育の制作等を主に行う。							
【到達目標】 ・外国語学習を通して、異言語や異文化への理解を深め、異文化に対する抵抗意識が少なくなる。 ・日常会話および児童福祉分野に関する基礎的な英会話力を習得する。 ・外国語学習や活動を通して、異なったものを認め、それを受け入れる態度を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】 必要資料は授業時に教員が配付する。				【授業外における学習】 予習や復習、資料準備などを事前に連絡する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 自己紹介 歌・ゲーム	【到達目標】 英語で自己紹介・ゲーム・歌を楽しむことができる。 保育園・幼稚園・児童施設における英語教育・活動の現状を知る。 【授業内容】 英語で自己紹介・ゲーム・歌 最近の幼児英語教育の状況を知る。			9 保育英語 歌	【到達目標】 保育・幼児教育に関わる英語の単語・表現を知る。 【授業内容】 保育・幼児教育に関わる英語の単語・表現のプリント学習、活動をする。		
2 歌・ゲーム	【到達目標】 英語の歌を聞いて、ロずさんだり、歌ったりできる。 英語のゲームを楽しむことができる。 【授業内容】 英語のこども向け・成人向けの歌を聞き、歌う。 英語のゲームを楽しもう。			10 制作・歌	【到達目標】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で親しみ、読み聞かせをしたり、歌を歌うことができる。 【授業内容】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で読む。歌を覚えて歌う。場面絵を制作したり、英語と日本語で読み聞かせを練習し、実際にやってみる。		
3 保育英語 歌	【到達目標】 保育・幼児教育に関わる英語の単語・表現を知る。 【授業内容】 保育・幼児教育に関わる英語の単語・表現のプリント学習、活動をする。			11 制作・歌	【到達目標】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で親しみ、読み聞かせをしたり、歌を歌うことができる。 【授業内容】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で読む。歌を覚えて歌う。場面絵を制作したり、英語と日本語で読み聞かせを練習し、実際にやってみる。		
4 保育英語 歌	【到達目標】 保育・幼児教育に関わる英語の単語・表現を知る。 【授業内容】 保育・幼児教育に関わる英語の単語・表現のプリント学習、活動をする。			12 制作・歌	【到達目標】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で親しみ、読み聞かせをしたり、歌を歌うことができる。 【授業内容】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で読む。歌を覚えて歌う。場面絵を制作したり、英語と日本語で読み聞かせを練習し、実際にやってみる。		
5 合唱	【到達目標】 英語の合唱曲を選び、リーダーを中心に役割・パートを決めることができる。 【授業内容】 ①合唱曲を決め、リーダー・各役割・パートを決める。 バイリンガル曲可。 ②4回目授業の撮影に向けて、計画を立てる。撮影動画が中間テストです。 ③ピアノやその他の楽器の使用を相談する。			13 制作・歌	【到達目標】 「はらべこあおむし」を英語と日本語で親しみ、読み聞かせをしたり、歌を歌うことができる。 【授業内容】 「はらべこあおむし」を英語と日本語で読む。歌を覚えて歌う。場面絵を制作したり、英語と日本語で読み聞かせを練習し、実際にやってみる。		
6 合唱	【到達目標】 選んだ合唱曲の練習に取り組むことができる。 【授業内容】 ①協力して練習する。 ②より良い表現を考えて意見を出し合う。 ③ピアノやその他の楽器の活かし方を工夫する。			14 発表・定期テスト	【到達目標】 「はらべこあおむし」を日本語と英語で発表する。クラスメイトの前での発表を楽しんで行うことができる。 【授業内容】 発表をクラスメイトの前で行う。定期テストとして評価します。		
7 合唱	【到達目標】 英語の合唱曲を選び、工夫して合唱に取り組むこと 【授業内容】 ①来週の撮影を見通して練習しましょう。 ②より良い表現を考えて意見を出し合う。 ③ピアノやその他の楽器の活かし方を工夫する。			15 発表・定期テスト	【到達目標】 「はらべこあおむし」を日本語と英語で発表する。クラスメイトの前での発表を楽しんで行うことができる。 【授業内容】 発表をクラスメイトの前で行う。定期テストとして評価します。		
8 合唱・撮影テスト	【到達目標】 練習した合唱曲の動画をベストな状態で撮影する。 【授業内容】 ①欠席なく、全員がそろって歌えると良い。中間テストですから。 ②何度か取り直しは可。来年度の参考にさせていただきます。 ③事前に相談して、衣装等をそろえても良いです。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 受講者の状況に合わせて、内容や学習の順番を変更する場合があります。							

科目名 (英)	総合福祉技術(点字) Study for Braille	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	天野 亨
学科・コース	保育士科	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 3限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 視覚しょうがい者で盲導犬と歩いています。長年点字を使い、学習・読書・点字楽譜を使って音楽の勉強もしてきました。点字や日本語の魅力をお伝えします。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) この授業では、友人と文通ができる程度の点字の読み書きを学ぶと共に、視覚しょうがいについての理解を深めていきます。							
【到達目標】 基本的な点字の学習を通じて、日本語を別の角度からとらえ返すと共に、それを使用する視覚しょうがい者のハンディキャップについての理解を深める。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「視覚障害者介護技術シリーズ1 初めての点訳 第3版」 ・点字器				【授業外における学習】 学習内容の予習・復習			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 名前を書こう 【授業内容】 点字器の正しい使い方と、点字の50音を理解しよう。			9	【到達目標】 形式名詞を学ぼう 【授業内容】 形式名詞について理解しよう。		
2	【到達目標】 単語を書こう 【授業内容】 点字で単語を正しく書こう。			10	【到達目標】 三つのハンディキャップについて理解しよう 【授業内容】 視覚しょうがい者のハンディキャップについて学ぼう。		
3	【到達目標】 数字とアルファベット 【授業内容】 点字の法則と数字・アルファベットとの関連性について学ぼう。			11	【到達目標】 盲導犬について知ろう 【授業内容】 盲導犬の仕事や、その主人との関係について考えよう。		
4	【到達目標】 付属語について 【授業内容】 自立語と付属語について学ぼう。			12	【到達目標】 こ・そ・あ・ど言葉について 【授業内容】 連体詞・副詞について学ぼう。		
5	【到達目標】 文章を書こう 【授業内容】 短い文章を正しい仮名使いで書こう。			13	【到達目標】 「ない」について理解しよう 【授業内容】 「ない」と言う言葉について学ぼう。		
6	【到達目標】 文節分かち書き 【授業内容】 文節分かち書きについての理解を深めよう。			14	【到達目標】 終了作品を作ろう。 【授業内容】 点字授業の最後にあたり、終了作品を作ろう。		
7	【到達目標】 補助動詞 【授業内容】 補助動詞について学ぼう。			15	【到達目標】 テスト 【授業内容】 今まで習得した点字の技術を評価するための試験と振り返り。		
8	【到達目標】 振り返りとテスト 【授業内容】 今まで習得した点字の技術を評価するための試験と振り返り。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	総合福祉技術(手話)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	高須 一美
	Sign Language	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分	前期
学科・コース	保育士科(昼間主コース)					曜日・時間	金曜 3限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 企業研修や学校・保育現場、病院・講演会・TV政見放送通訳等。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 保育園や幼稚園等、現場で使える手話を表現できるように指導する。聞こえないことに対しての理解を深め、コミュニケーションスキルの一つとしての手話を体得する。実習の要素を多く取り入れ、学生が自分で実践出来るように指導を進める。							
【到達目標】 保育園や幼稚園等の教育現場で使える手話表現を身に付ける。保護者に対して、子どもに対して手話を伝えていける保育士となれる様な学びの場とする。言葉のみに頼らず手話・口話・身振り・筆談等が自然に出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 手話テキスト I				【授業外における学習】 予習は特に必要ないが、授業で覚えた内容は復習して、次の授業でわからないことは質問できるように心掛けて欲しい。一人ひとりが授業の主人公になる。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 手話について理解する。挨拶の手話を覚える。 【授業内容】 手話とはどのような言葉なのか理解する。実際に自ら手を動かして表現することに慣れる。			9	【到達目標】 疑問詞 I 何・どこ・どっち の表現を覚える。 【授業内容】 疑問詞を学び、問う、答えるのコミュニケーションの形を取って、やり取りができるようにする。学生同士で会話をしてみる。		
2	【到達目標】 自分の名前が、手話で表現できるようになる。 【授業内容】 名字の表現方法を身に付ける。名乗れる、尋ねる事ができるようにする。			10	【到達目標】 疑問詞 II いくつ・いくら・いつ・何故・どのように の表現を覚える。 【授業内容】 学生同士で学んだ疑問詞を使って会話が出来るように演習を進める。		
3	【到達目標】 指文字(50音)の表現が出来るようになる。自分の名前が表現出来るようになる。 【授業内容】 <あ〜ん>までの表現方法を学び、実際に自分の名前、固有名詞の表現が出来るように、覚え方も解説して進める。			11	【到達目標】 現場を想定した会話が出来るようになる。 【授業内容】 資料を使って、現場を想定して、簡単なやりとりができるようにする。		
4	【到達目標】 数字の表現方法を覚える。日時や金額の表現が出来るようになる。 【授業内容】 <1〜万>の単位まで、数字を表現する方法を学ぶ。色々なものの表現をしてみる。			12	【到達目標】 歌に手話を付けて歌えるようになる。(参考:『さんぽ』『にじ』『はじめの一歩』等) 【授業内容】 保育園で楽しく歌えるような歌に手話を付けて歌う。単語の説明や歌詞の翻訳についても解説する。		
5	【到達目標】 聴覚障がいについて理解する。障がいとはどのようなことか、他の障がいについても理解する。 【授業内容】 映像を視聴して、聴覚障がいについて考える。コミュニケーションについて考える。			13	【到達目標】 歌に手話を付ける(物語を手話で語る) 【授業内容】 事前に学生の希望を取り、歌に手話を付けるか、物語を手話で語るかを決定する。		
6	【到達目標】 時制についての表現方法を覚える。曜日の表現方法を覚える。 【授業内容】 今日・明日・来週等の覚えた単語を使って、日常会話の短文の表現が出来るようにする。			14	【到達目標】 1回から13回までの総復習。今後の手話への関りについて考える。 【授業内容】 簡単な手話表現が出来るようになったことを確認する。全体的な質問を受ける。今後の手話学習について情報を提供する。		
7	【到達目標】 1回から6回目までの復習。 【授業内容】 自分の苦手な所はどこなのかを知り、それぞれが苦手な部分を克服して、後半の講義に臨めるようにする。中間試験に備える。			15	【到達目標】 定期末試験 【授業内容】 定期末試験(手話の読み取り試験) 60点問題		
8	【到達目標】 中間試験 【授業内容】 中間試験(手話の読み取り試験) 15点問題			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100〜90点＝A評価 点数 89〜80点＝B評価 点数 79〜70点＝C評価 点数 69〜60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 学生全員が、自ら積極的に授業に参加できるような雰囲気を作っていきたい。遠慮することなく、分からないことは、すぐに質問できるように授業にしたい。							

科目名 (英)	教育原理 Basic Study for Child Education	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	泉 咲希
学科・コース	保育士科	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 月曜 3限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育士資格、幼稚園・小学校教諭免許を所持し、幼稚園・認定こども園・保育所に勤務する。2018年より本校にて保育士科の授業を担当している。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は教育の意義、歴史、現代教育の目的、教育がもたらす効果、教育に関わる時事問題、世界の教育等について学ぶ。教員の保育現場での経験を織り交ぜながら講義・演習を行うなかで、学生自身もこれまでの経験を振り返り考えを深め、将来自身が関わる子どもたちにとっての教育の重要性を認識する授業としたい。							
【到達目標】							
・教育の意義、目的及び子ども家庭福祉等との関わりについて理解することができる。 ・教育の思想と歴史の変遷について学び、教育に関する基礎的な理論、教育の制度、教育実践の様々な取り組みについて理解することができる。 ・生涯学習社会における教育の現状を踏まえ、現代の課題について考え、自身が保育士となった際にどのように取り組むか考えることができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 参考資料/新基本保育シリーズ「教育原理」				【授業外における学習】 予習や復習、資料準備などを事前に連絡する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 授業の目的、内容、評価の方法について理解することができる。 教育の意義、目的について理解することができる。 【授業内容】 授業オリエンテーション、教育の意義・目的			9	【到達目標】 諸外国の教育制度について調べたことを発表することができる。 諸外国の教育制度を知り、自国の教育制度を見直し考えることができる。 【授業内容】 中間試験		
2	【到達目標】 乳幼児期の教育の特性を理解することができる。 【授業内容】 乳幼児期の教育の特性			10	【到達目標】 教育実践の基礎理論について理解することができる。 【授業内容】 教育実践の基礎理論(内容・方法・計画と評価)		
3	【到達目標】 教育と子ども家庭福祉との関連性を理解することができる。 人間形成と家庭・地域社会との関連性を理解することができる。 【授業内容】 教育と子ども家庭福祉の関連性、人間形成と家庭・地域社会との関連性			11	【到達目標】 様々な幼児教育実践について理解することができる。 【授業内容】 教育実践の多様な取り組み		
4	【到達目標】 諸外国の教育の思想と歴史について理解することができる。 【授業内容】 諸外国の教育の思想と歴史			12	【到達目標】 生涯学習の基本、現代の教育課題に対する国の政策動向について理解することができる。 【授業内容】 生涯学習社会における教育の現状と課題		
5	【到達目標】 日本の教育の思想と歴史について理解することができる。 【授業内容】 日本の教育の思想と歴史			13	【到達目標】 幼児教育・保育の質の向上のあり方について考えることができる。 【授業内容】 生涯学習社会における教育の現状と課題		
6	【到達目標】 子ども観と教育観の変遷について理解することができる。 【授業内容】 子ども観と教育観の変遷			14	【到達目標】 これまでの学習の振り返りを行い整理することで、学んだことを定着し定期試験に臨む準備ができる。 【授業内容】 これまでの学習の振り返り・整理		
7	【到達目標】 教育制度の基本を踏まえ、法律と行政について理解することができる。 諸外国の教育制度に感心をもち調べ学習に取り組む準備ができる。 【授業内容】 教育制度の基本・法律と行政、諸外国の教育制度			15	【到達目標】 これまでの授業で学んだことを踏まえ、定期試験に取り組むことができる。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 諸外国の教育制度について調べたことを整理し、発表資料を作成することができる。 【授業内容】 諸外国の教育制度			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 グループワークでは一人ひとりが安心して発言できる場がつかれるように傾聴を心がけてください。周りの人の考えが自分の考えを広げ深め、学びを豊かにしてくれます。							

科目名 (英)	社会的養護Ⅰ InstitutionⅠ	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	丑久保 行紀
学科・コース	保育士科	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 水曜 3限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 児童養護施設の職員として15年の勤務経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、社会的養護の意義や制度、実施体系について学ぶ。子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解するとともに、社会養護の現状や課題について、主体的に考察する力を養う。 担当教員のこれまでの現場経験の事例も紹介しながら、具体的にわかりやすい説明を行い、時に学生に考える時間を設け、より深く理解できる授業を行う。							
【到達目標】 ・社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。社会的養護の現状と課題について理解する。 ・子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。 ・社会的養護の制度、実施体系、対象や形態、関係する専門職等に浮いて理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「みらい×子どもの福祉ボックス 社会的養護Ⅰ」みらい				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 社会的養護の概念について理解し、社会的養護の概念およびその理念と原理を理解できる。 【授業内容】 社会的養護とは何か・社会的要の基本理念と原理・社会的養護の基盤づくり			9	【到達目標】 予防的支援、在宅措置、代替養育を必要とする子供たちや家族がどのようなニーズを抱えているか理解できる。 【授業内容】 児童虐待と社会的養護・措置解除後のアフターケアの対象と支援		
2	【到達目標】 社会的養護の歴史の変遷について学び、欧米・日本の社会的養護の歴史を理解する。 【授業内容】 欧米の社会的養護の歩み・日本の社会的養護の歴史			10	【到達目標】 社会的養護施策の動向、里親やファミリーホームなどの家庭養護施設と施設養護の現状と課題について理解できる。 【授業内容】 家庭養護と施設養護について・児童養護施設について・里親制度について		
3	【到達目標】 社会的養護における子どもの人権擁護の捉え方や、具体的養護の在り方を検討し、虐待の防止や対応を理解できる。 【授業内容】 子どもの人権擁護と社会的養護における虐待			11	【到達目標】 現場で働く専門職の業務内容及び求められる専門性について理解できる。 【授業内容】 専門性とは・国家資格、保育士について・児童福祉施設に配置されている職種と連携について		
4	【到達目標】 社会的養護の基本原則である「家庭養育優先原則」を学び、その根拠となる法律や条例等を理解できる。 【授業内容】 児童福祉法の改正・新しい社会的養育ビジョンについて・アイデンティティの形成			12	【到達目標】 現場社会的養護で暮らす子どもたちの背景や社会的養護の位置づけ、その相互関係について理解できる。 【授業内容】 現代社会における養護問題・児童福祉法改正と新しい社会的養育ビジョン		
5	【到達目標】 倫理とは社会生活上の行動規範であることを学び、社会的養護にかかわる専門職の倫理と責務について理解できる。 【授業内容】 倫理とは・社会的養護におけるケアと倫理・子どものケアに係る専門職・保育士の倫理綱領			13	【到達目標】 施設等の運営にかかわる内容と費用の仕組みや在り方について理解できる。 【授業内容】 児童福祉施設の運営主体について・社会福祉法人とは・施設における家庭的養護の推進と人事労務管理		
6	【到達目標】 「措置制度」とその背景原理、児童福祉法の概要、関連法規について学び、日本の社会的養護の制度と法体系について理解できる。 【授業内容】 社会的養護の制度について・社会的養護の基本法(児童福祉法)・社会的養護に関するさまざまな関連法規			14	【到達目標】 被措置児童等の虐待とは何かを理解し、被措置児童等の虐待防止の経緯を踏まえてその発生要因と課題について理解できる。 【授業内容】 被措置児童虐待とは・被措置児童虐待の現状について		
7	【到達目標】 児童相談所から社会的養護の施設や里親課程に至るまでのソーシャルワーク過程について理解できる。 【授業内容】 社会的養護の基本的なしくみ・社会的養護の実施体系			15	【到達目標】 地域福祉の中で児童福祉施設の役割について理解する。これまでの振り返りを通して、社会的養護についての理解を定着させる。 【授業内容】 定期試験・前期授業振り返り		
8	【到達目標】 ソーシャルワークについての基本的な視点や考えを確認し、社会的養護におけるソーシャルワークについて理解できる。 【授業内容】 ソーシャルワークの定義・社会的養護におけるソーシャルワーク・ファミリーソーシャルワーク・中間テスト			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 日頃から子どもに関する情報を新聞やネットで収集しておくことと学びが深まる。							

科目名 (英)	子どもの食と栄養 Nutrition for children	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	六角 はち美
	学科・コース 保育士科	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 水曜 1限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 20年以上にわたり病院(産婦人科、小児科)・保育園・介護施設での栄養管理は勿論、調理・献立作成や衛生管理・発注作業・栄養相談など幅広い経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 栄養学は体と食の関係性を学ぶ事が大切です。自分の体の中で起こっていることにまずは興味を持てるように、日常で行える体の変化を体験していただきます。五大栄養素とはそれぞれどんな役割を持っていて、体に吸収される流れはどんなものなのかを体系的に学んでいきます。そうすることにより、食べ物が体の1部になったり、エネルギーとして使われたりなどリアルに理解できるようになります。講師が実際に2000人以上の食事相談をうけてきた中で得た内容をわかりやすく、スライドや板書を使い、授業を展開していきます。							
【到達目標】 ・体は何で出来ているかを学び、その材料を摂るべき理由を理解する。 ・それぞれの栄養が体の中をどのようにたどり消化吸収されているのかを学ぶ。 ・五大栄養素の特性を学び、体にどうして、どれくらい必要なのかを知る。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】 日々自分の食事と体調の変化に意識を向け食と身体つながりをリアルに感じる。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 保育士が食と栄養を学ぶ意義を理解し1年間の目標を見いだせる。 【授業内容】 栄養とは？導入の授業を行う。			9	【到達目標】 脂溶性ビタミンのそれぞれの特徴を説明できる。 【授業内容】 脂溶性ビタミンの種類がわかるようにし、それぞれの特徴や含有食品、食べ方のポイント病気への関わりを学ぶ。		
2	【到達目標】 食事バランスガイドが使える。 【授業内容】 食事バランスガイドを実際に使って自分の食事バランスを確認する。自分の食生活を振り返る。			10	【到達目標】 水溶性ビタミンのそれぞれの特徴を説明できる。 【授業内容】 水溶性ビタミンの種類がわかるようにし、それぞれの特徴や含有食品、食べ方のポイント、病気への関わりを学ぶ。		
3	【到達目標】 炭水化物(糖質)の種類や役割を説明できる。血糖値について理解する。 【授業内容】 炭水化物(糖質)について種類・特徴・消化について学ぶ。			11	【到達目標】 多量ミネラルのそれぞれの違いについて説明できる。 【授業内容】 多量ミネラルの種類がわかるようにし、それぞれの特徴や含有食品、食べ方のポイント、病気への関わりを学ぶ。		
4	【到達目標】 炭水化物(食物繊維)の種類や役割を説明できる。分粥が作れる。 【授業内容】 炭水化物(食物繊維)について種類・特徴について学ぶ。実習に向けて衛生管理について確認し、実際に分粥を作る。			12	【到達目標】 微量ミネラルのそれぞれの違いについて説明できる。 【授業内容】 微量ミネラルの種類がわかるようにし、それぞれの特徴や含有食品、食べ方のポイント、病気への関わりを学ぶ。		
5	【到達目標】 たんぱく質の種類や特性を理解し、必須アミノ酸やアミノ酸スコアを説明できる。 【授業内容】 たんぱく質について種類・特徴・栄養価の見方・消化に至るまで学習する。			13	【到達目標】 ビタミン・ミネラルについてしっかり説明できる。ポーンプロスを作る。 【授業内容】 第9～12回目までの内容について確認作業を行い疑問点をなくす。実習に向けて衛生管理について確認し、実際にポーンプロスを作る。		
6	【到達目標】 脂質の種類・特徴・脂肪酸の違いについて説明できる。 【授業内容】 脂質について種類を学び、脂肪酸構造から特徴を学ぶ。			14	【到達目標】 食事摂取基準の読み方が説明できる。食品に書かれている表示を見て、自分にとって必要な情報をよみとれるようにする。 【授業内容】 食事摂取基準の各栄養素の指標を理解し、各栄養素の必要量等を読み取れるよう学ぶ。食品表示制度について学び、実物で確かめる。		
7	【到達目標】 三大栄養素について消化吸収を含め代謝経路をしっかりと説明できる。 【授業内容】 3大栄養素の消化吸収について学び代謝全体を知る。			15	【到達目標】 第1回～14回授業についてしっかりと理解が出来ているか確認を行い、それぞれ説明できる。 【授業内容】 定期試験を行う。		
8	【到達目標】 第1回～7回授業についてしっかりと理解が出来ているか確認を行い、それぞれ説明できる。 【授業内容】 中間試験を行う。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 日常での体調チェックを行うようにしていくと、栄養の授業がより興味をもってうけられるようになります。							

科目名 (英)	保育の計画と評価	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	上條 友葉
	Planning and evaluation for nursery care	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 木曜 2限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育士・幼稚園教諭としての実務経験を有し、現場及び本校において実習指導に携わる経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、保育における計画や評価について学ぶ科目である。実際に計画・実践・評価をするなかで、様々な視点で保育を計画することの重要性や子ども理解を深める重要性について学ぶ。現場経験を活かし、実際の保育現場においてどのように保育の計画・評価が行われているのかエピソードを踏まえながら伝え、保育や保育現場のイメージが持てるよう授業を進める。							
【到達目標】							
・保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について理解する。 ・全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を理解する。 ・子どもの理解に基づく計画、実践、省察・評価、改善の過程についてその全体構造を捉え、理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(チャイルド社)/登園ファイル(黄)				保育現場での学びに備えた事前事後の課題を期日を守り取り組むこと。 健康管理・身だしなみや清潔面を特に意識し保育学生としての身構えを整えること。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 保育に計画と評価のサイクルがなぜ必要かをまとめることができる。保育計画における諸計画の様式の概要をまとめることができる。 【授業内容】 授業オリエンテーション 保育の計画と評価の基本 保育の計画と評価の関連性			9	【到達目標】 登園授業を振り返り、それぞれの発達段階に適した安全配慮を工夫することができる。計画上の保育者の留意点を書き出すことができる。 【授業内容】 登園日⑦「安全と安心の環境」の気付きと分かち合い 保育の省察および記録とカンファレンス		
2	【到達目標】 計画の種類と概要を知る。保育の記録を計画に反映する方法を知り、記録の取り方について自分なりにまとめることができる。 【授業内容】 計画の種類と概要 記録の必要性			10	【到達目標】 登園授業における自身の立ち居振る舞いや保育者からの助言を振り返り、新たな課題に気付くことができる。 【授業内容】 (中間テスト) 保育の省察および記録とカンファレンス		
3	【到達目標】 登園授業を振り返り、半期の保育現場とその間の計画や評価の観点についてまとめることができる。 【授業内容】 登園日①「大きくなったね 半年ぶりの再会」の振り返り			11	【到達目標】 保育の計画の作成と展開について基本的な考え方を知り、指導案の作成をすることができる。 【授業内容】 登園日⑧「季節の保育」の気付きと振り返り 指導計画の作成		
4	【到達目標】 登園授業を振り返り、半期の保育現場とその間の計画や評価の観点についてまとめることができる。 【授業内容】 登園日②「大きくなったね 半年ぶりの再会」の振り返り 保育所における保育の計画(基本的考え方)			12	【到達目標】 保育の計画の作成と展開について基本的な考え方を知り、指導案の作成をすることができる。 【授業内容】 登園⑨の気付きと振り返り カリキュラムの基礎理論		
5	【到達目標】 登園授業を振り返り、子ども理解に基づく保育の過程を辿る。保育の振り返りの視点を養い、まとめることができる。 【授業内容】 登園日③「良いところみつけた」の振り返り 子供の理解に基づく保育の過程の循環による保育の質の向上			13	【到達目標】 保育の計画の作成と展開について基本的な考え方を知り、指導案の作成をすることができる。 【授業内容】 登園日⑩の気付きと振り返り 計画に基づく保育の柔軟な展開		
6	【到達目標】 登園授業を振り返り、子ども理解に基づく保育の過程を辿る。保育の振り返りの視点を養い、まとめることができる。 【授業内容】 登園日④「良いところみつけた」の振り返り 子供の理解に基づく保育の過程の循環による保育の質の向上			14	【到達目標】 保育の計画の作成と展開について基本的な考え方を知り、指導案の作成をすることができる。 【授業内容】 定期試験(指導計画案の提出)		
7	【到達目標】 登園授業を振り返り、子ども理解に基づく保育の過程を辿る。保育の振り返りの視点を養い、まとめることができる。 【授業内容】 登園日⑤「先生の言葉かけ」からの気付きと振り返り 保育の記録及び省察			15	【到達目標】 保育実習に向けた短期計画の作成をすることができる。 自身の目標達成のための計画を作成することができる。 【授業内容】 保育実習Ⅰ(保育所)に向けた事前授業		
8	【到達目標】 登園授業を振り返り、子ども理解に基づく保育の過程を辿る。保育の振り返りの視点を養い、まとめることができる。 【授業内容】 登園日⑥「先生の言葉かけ」からの気付きと振り返り 保育のガイドライン			【評価について】			
【特記事項】				筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			

科目名 (英)	保育内容総論 Early Childhood Education Curriculum	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	上條 友葉
	学科・コース 保育士科	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 火曜 2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育士・幼稚園教諭としての実務経験を有し、現場及び本校において実習指導に携わる経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、子どもの発達に必要な活動について、学生自身が保育園へ登園し実際に子どもの姿から保育を学ぶ科目である。学生はこの授業から保育の理解を深め、現場力を身につけて欲しい。また、グループワークを通じて保育現場で必要な相互理解の力を養って欲しい。							
【到達目標】							
①保育所保育指針における「保育の目標」、「子どもの発達」、「保育の内容」に関連付けて保育内容を理解し、保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。 ②保育内容の歴史的変遷について学び、保育内容について理解する。 ③観察や記録の観点を習得し、保育内容と子ども理解とのかかわりについて学ぶ。 ④養護と教育が一体的に展開することを具体的な保育実践につなげて理解する。 ⑤保育の多様な展開について具体的に学ぶ。							
【使用教科書・教材・参考書】 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(チャイルド社)/登園ファイル(黄)				【授業外における学習】 保育現場での学びに備えた事前事後の課題を期日を守り取り組むこと。 健康管理・身だしなみや清潔面を特に意識し保育学生としての身構えを整えること。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 週1登園の目的と目標を確かめ合う。 必要な事前準備を整えることができる。 【授業内容】 オリエンテーション/スケジュールと評価の確認			9	【到達目標】 保育環境や保育現場での取り組みから子どもを守る仕組み、安全を保持するための心構えについて知りまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑦「安全と安心の環境」		
2	【到達目標】 週1登園の目的と目標を確かめ合う。必要な事前準備を整えることができる。 注目の視点について理解し、登園に備えることができる。 【授業内容】 週1登園の準備			10	【到達目標】 これまでの登園授業で特に印象に残ったエピソードをまとめ、他者と共有することができる。 仲間の発表から気付き、記録に残すことができる。 【授業内容】 中間テスト(エピソード記録の発表) 学びと気付きの分かち合い		
3	【到達目標】 半年前に登園した園へ再訪し、季節の移り変わりやこどもの成長と変化を感じ気づきを得る。言葉にして残すことができる。 【授業内容】 登園日①「大きくなったね 半年ぶりの再会」			11	【到達目標】 季節ならではの保育環境や生活と遊びの様子に気付く。保育の具体的な実践をまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑧「季節の保育」		
4	【到達目標】 半年前に登園した園へ再訪し、季節の移り変わりやこどもの成長と変化を感じ気づきを得る。言葉にして残すことができる。 【授業内容】 登園日②「大きくなったね 半年ぶりの再会」			12	【到達目標】 園の保育方針や保育理念を理解した上での実践から気付きを得て、記録にまとめることができる 【授業内容】 登園日⑨「注目の視点を園の先生から指示していただく」		
5	【到達目標】 生活や遊びを通して子どもの個性や発達に注目し、理解しようとする ことができる。良好な関係を築き、記録にまとめることができる。 【授業内容】 登園日③「良いところみつけた」			13	【到達目標】 園の保育方針や保育理念を理解した上での実践から気付きを得て、記録にまとめることができる 【授業内容】 登園日⑩「注目の視点を園の先生から指示していただく」		
6	【到達目標】 生活や遊びを通して子どもの個性や発達に注目し、理解しようとする ことができる。良好な関係を築き、記録にまとめることができる。 【授業内容】 登園日④「良いところみつけた」			14	【到達目標】 週1登園を振り返り、これまでの気付きをまとめ言葉にして共有する ことができる。自身の次の課題を見つけまとめることができる。 【授業内容】 定期試験「週1登園 振り返りプレゼンテーションの発表」		
7	【到達目標】 保育者の場面に応じた言葉かけ・言葉のない関わりや見守り、言葉による 伝え合いの場面から学び、気付きをまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑤「先生の言葉かけ」			15	【到達目標】 週1登園から得た自身の課題や今後の目標を明確にすることができる。 保育実習に向けた準備を整えることができる。 【授業内容】 保育実習Ⅰ(保育所)に向けた事前授業		
8	【到達目標】 保育者の場面に応じた言葉かけ・言葉のない関わりや見守り、言葉による 伝え合いの場面から学び、気付きをまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑥「先生の言葉かけ」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育内容演習 Seminar for Contents of Early Childhood Care and Education	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	上條 友葉
学科・コース	保育士科	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 火曜 3限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育士・幼稚園教諭としての実務経験を有し、現場及び本校において実習指導に携わる経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、子どもの発達に必要な活動について、学生自身が保育園へ登園し実際に子どもの姿から保育を学ぶ科目である。学生はこの授業から保育の理解を深め、現場力を身につけて欲しい。また、グループワークを通じて保育現場で必要な相互理解の力を養って欲しい。							
【到達目標】							
①総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 ②保育所保育指針における乳児保育の3つの視点と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域を通して捉え、保育の内容について具体的に理解する。 ③子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えとともに、保育士が留意、配慮すべき事項を理解する。 ④環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程の実際について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(チャイルド社)/登園ファイル(黄)				【授業外における学習】 保育現場での学びに備えた事前事後の課題を期日を守り取り組むこと。 健康管理・身だしなみや清潔面を特に意識し保育学生としての身構えを整えること。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 週1登園の目的と目標を確かめ合う。 必要な事前準備を整えることができる。 【授業内容】 オリエンテーション/スケジュールと評価の確認			9	【到達目標】 保育環境や保育現場での取り組みからこどもを守る仕組み、安全を保持するための心構えについて知りまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑦「安全と安心の環境」		
2	【到達目標】 週1登園の目的と目標を確かめ合う。必要な事前準備を整えることができる。 注目の視点について理解し、登園に備えることができる。 【授業内容】 週1登園の準備			10	【到達目標】 これまでの登園授業で特に印象に残ったエピソードをまとめ、他者と共有することができる。仲間の発表から気付き、記録に残すことができる。 【授業内容】 中間テスト(エピソード記録の発表) 学びと気付きの分かち合い		
3	【到達目標】 半年前に登園した園へ再訪し、季節の移り変わりやこどもの成長と変化を感じ気づきを得る。言葉にして残すことができる。 【授業内容】 登園日①「大きくなったね 半年ぶりの再会」			11	【到達目標】 季節ならではの保育環境や生活と遊びの様子に気付く。保育の具体的な実践をまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑧「季節の保育」		
4	【到達目標】 半年前に登園した園へ再訪し、季節の移り変わりやこどもの成長と変化を感じ気づきを得る。言葉にして残すことができる。 【授業内容】 登園日②「大きくなったね 半年ぶりの再会」			12	【到達目標】 園の保育方針や保育理念を理解した上での実践から気付きを得て、記録にまとめることができる 【授業内容】 登園日⑨「注目の視点を園の先生から指示していただく」		
5	【到達目標】 生活や遊びを通して子どもの個性や発達に注目し、理解しようとする ことができる。良好な関係を築き、記録にまとめることができる。 【授業内容】 登園日③「良いところみつけた」			13	【到達目標】 園の保育方針や保育理念を理解した上での実践から気付きを得て、記録にまとめることができる 【授業内容】 登園日⑩「注目の視点を園の先生から指示していただく」		
6	【到達目標】 生活や遊びを通して子どもの個性や発達に注目し、理解しようとする ことができる。良好な関係を築き、記録にまとめることができる。 【授業内容】 登園日④「良いところみつけた」			14	【到達目標】 週1登園を振り返り、これまでの気付きをまとめ言葉にして共有する ことができる。自身の次の課題を見つけまとめることができる。 【授業内容】 定期試験「週1登園 振り返りプレゼンテーションの発表」		
7	【到達目標】 保育者の場面に応じた言葉かけ・言葉のない関わりや見守り、言葉による 伝え合いの場面から学び、気付きをまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑤「先生の言葉かけ」			15	【到達目標】 週1登園から得た自身の課題や今後の目標を明確にすることができる。 保育実習に向けた準備を整えることができる。 【授業内容】 保育実習Ⅰ(保育所)に向けた事前授業		
8	【到達目標】 保育者の場面に応じた言葉かけ・言葉のない関わりや見守り、言葉による 伝え合いの場面から学び、気付きをまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑥「先生の言葉かけ」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育内容の理解と方法 Understanding and method for Childcare contents	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	上條 友葉
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 火曜 1限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
さいたま市私立保育園協会に所属し、保育実務歴5年以上を有する。/保育士・幼稚園教諭としての実務経験、本校における現場実習指導の経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、学生が各保育所の現場に赴き、各保育所の特色や保育の取り組みについて実践を通して学び、保育職と子どもの理解に繋がる事を目的とした科目である。授業毎の課題を基に行った実践を振り返り、各保育所で得てきた学びをディスカッションを通して共有し、各々の保育に対する理解を深めていく。							
【到達目標】							
・保育現場の実際や実態を学び、保育の基本や保育者の役割を理解することができる。 ・子どもの発達や保育の環境、内容を理解したうえで、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 ・保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(チャイルド社)/登園ファイル(黄)				保育現場での学びに備えた事前事後の課題を期日を守り取り組むこと。 健康管理・身だしなみや清潔面を特に意識し保育学生としての身構えを整えること。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 週1登園の目的と目標を確かめ合う。 必要な事前準備を整えることができる。 【授業内容】 オリエンテーション/スケジュールと評価の確認			9	【到達目標】 保育環境や保育現場での取り組みからこどもを守る仕組み、安全を保持するための心構えについて知りまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑦「安全と安心の環境」		
2	【到達目標】 週1登園の目的と目標を確かめ合う。必要な事前準備を整えることができる。注目の視点について理解し、登園に備えることができる。 【授業内容】 週1登園の準備			10	【到達目標】 これまでの登園授業で特に印象に残ったエピソードをまとめ、他者と共有することができる。仲間の発表から気付き、記録に残すことができる。 【授業内容】 中間テスト(エピソード記録の発表) 学びと気付きの分かち合い		
3	【到達目標】 半年前に登園した園へ再訪し、季節の移り変わりやこどもの成長と変化を感じ気づきを得る。言葉にして残すことができる。 【授業内容】 登園日①「大きくなったね 半年ぶりの再会」			11	【到達目標】 季節ならではの保育環境や生活と遊びの様子に気付く。保育の具体的な実践をまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑧「季節の保育」		
4	【到達目標】 半年前に登園した園へ再訪し、季節の移り変わりやこどもの成長と変化を感じ気づきを得る。言葉にして残すことができる。 【授業内容】 登園日②「大きくなったね 半年ぶりの再会」			12	【到達目標】 園の保育方針や保育理念を理解した上での実践から気付きを得て、記録にまとめることができる 【授業内容】 登園日⑨「注目の視点を園の先生から指示していただく」		
5	【到達目標】 生活や遊びを通して子どもの個性や発達に注目し、理解しようとする ことができる。良好な関係を築き、記録にまとめることができる。 【授業内容】 登園日③「良いところみつけた」			13	【到達目標】 園の保育方針や保育理念を理解した上での実践から気付きを得て、記録にまとめることができる 【授業内容】 登園日⑩「注目の視点を園の先生から指示していただく」		
6	【到達目標】 生活や遊びを通して子どもの個性や発達に注目し、理解しようとする ことができる。良好な関係を築き、記録にまとめることができる。 【授業内容】 登園日④「良いところみつけた」			14	【到達目標】 週1登園を振り返り、これまでの気付きをまとめ言葉にして共有する ことができる。自身の次の課題を見つけまとめることができる。 【授業内容】 定期試験「週1登園 振り返りプレゼンテーションの発表」		
7	【到達目標】 保育者の場面に応じた言葉かけ・言葉のない関わりや見守り、言葉による 伝え合いの場面から学び、気付きをまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑤「先生の言葉かけ」			15	【到達目標】 週1登園から得た自身の課題や今後の目標を明確にすることができる。 保育実習に向けた準備を整えることができる。 【授業内容】 保育実習Ⅰ(保育所)に向けた事前授業		
8	【到達目標】 保育者の場面に応じた言葉かけ・言葉のない関わりや見守り、言葉による 伝え合いの場面から学び、気付きをまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑥「先生の言葉かけ」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	乳児保育Ⅱ Infant nursing CareⅡ	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	平岡 麻依子
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 水曜 2限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
公立保育所に長年勤務し、0歳児から5歳児までの保育に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
3歳未満児の発達をふまえた、実践的な関わり方を講義と実技演習を通して理解し、実践できるようになっていく。また、現代の保護者の置かれている状況と、抱えている不安について理解し、信頼関係を築き寄り添っていく方法を身につけて欲しい。							
【到達目標】							
・3歳未満児の発育・発達を踏まえた援助や関わり方の基本的な考えについて理解する。 ・養護及び教育の一体化を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。 ・乳児保育における配慮の実際、計画の作成について具体的に理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
令和5年度最新版 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン／幼稚園教育要領／保育所保育指針／幼保連携型認定こども園教育・保育要領(チャイルド社)							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 乳児の情緒発達を理解し、適切な支援方法を考えることができる。 【授業内容】 情緒発達の段階と保育士の関わり。			9	【到達目標】 発達に応じた遊びの発展的な支援方法を理解できる。 【授業内容】 創造的な遊びの取り入れ方。		
2	【到達目標】 乳児に適した絵本の選び方と読み聞かせの効果を理解できる。 【授業内容】 年齢に応じた絵本選びと読み聞かせの方法。			10	【到達目標】 乳児の感覚発達を促すおもちゃを制作することができる。 【授業内容】 安全に配慮した音のなるおもちゃの制作と、保育への活用を学ぶ。		
3	【到達目標】 乳児の栄養支援の一環として離乳食と調乳の方法を習得することができる。 【授業内容】 離乳食の調理と調乳の実技演習。			11	【到達目標】 保護者支援の必要性と具体的な方法を理解できる。 【授業内容】 家庭との連携、保護者面談のポイント。		
4	【到達目標】 読み聞かせの実践力を高め、指導案を作成できる。 【授業内容】 実際の読み聞かせ演習と指導案作成。			12	【到達目標】 具体的な事例を通じて保護者支援の実践力を高めることができる。 【授業内容】 ケーススタディを用いた保護者対応の演習。		
5	【到達目標】 スケッチブックシアターの基礎を理解し、制作できる。 【授業内容】 スケッチブックシアターの作成。			13	【到達目標】 授業内容の振り返りができる。 【授業内容】 定期試験①実技試験(絵本の読み聞かせ)		
6	【到達目標】 指導案を作成し、発表に向けての練習を行う。 【授業内容】 スケッチブックシアターの実践練習。			14	【到達目標】 授業内容の振り返りができる。 【授業内容】 定期試験②実技試験(絵本の読み聞かせ)		
7	【到達目標】 スケッチブックシアターを実践し、表現力を発揮することができる。 【授業内容】 中間試験①スケッチブックシアター実技発表(前半)			15	【到達目標】 授業内容の振り返りができる。 【授業内容】 定期試験③筆記試験		
8	【到達目標】 スケッチブックシアターを実践し、表現力を発揮することができる。 【授業内容】 中間試験②スケッチブックシアター実技発表(後半)			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	子どもの健康と安全 Health and safety for childhood	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	皆川 紘子
	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 木曜 1限	
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 救急看護認定看護師として新生児・乳児・幼児の看護に携わり、虐待対応や保護者対応、保育園へ訪問し保育士に対する指導などに携わっている。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 保育士として子どもの健康の保持増進に必要な知識や技術の基礎を習得するための講義を行う。安心して安全が保障される保育を実施するために、子どもの命を預かる重要性和責任を自覚し、理解を深めてほしい。							
【到達目標】 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助、衛生管理、事故防止及び安全対策、危機管理、災害対策、子どもの体調不良時等に対する適切な対応、保育における感染症対策、保育における健康的対応の基本的な考え方を踏まえて子どもの発達や状態等に即した適切な対応、子どもの健康及び安全の管理に関わる組織的取り組みや保健活動の計画及び評価等、各項目に関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ具体的に理解することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】 医療専門用語や難しい内容も多いので事前学習や予習をして講義を受け、毎回の「小テスト」を繰り返し行い学習内容の定着を目指して下さい。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 子どもの健康と安全を学び理解することができる。 【授業内容】 子どもの成長発達と健康 子供の健康に影響するもの 子どもを取り巻く環境と安全			9	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。 【授業内容】 障害の概念		
2	【到達目標】 子どもの健康と子育てに必要な養護・しつけを学び理解することができる。 【授業内容】 居住・施設環境・基本的生活習慣・基本生活習慣の確立 日常に必要な養護			10	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。 【授業内容】 障害を伴う病気・症状とそのケア		
3	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。 【授業内容】 子どもの事故の特徴			11	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。 【授業内容】 精神的な障害(発達障害/神経症)とそのケア		
4	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。 【授業内容】 事故やけがの理解と応急処置①			12	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。 【授業内容】 特殊なケアの介助方法		
5	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。 【授業内容】 事故やけがの理解と応急処置②			13	【到達目標】 災害の影響から子どもをできるだけ守るを学び理解することができる。 【授業内容】 災害の種類と影響 災害に備えて		
6	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。 【授業内容】 事故やけがの予防①			14	【到達目標】 地域との連携、協働を学び理解することができる。 【授業内容】 子どもにかかわる地域ネットワークシステム・保護者と地域における専門職との連携・協働		
7	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。 【授業内容】 事故やけがの予防②			15	【到達目標】 授業の内容の理解を深め定着することができる。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 前半の授業を振り返り学び理解することができる。 【授業内容】 前半の授業の振り返りと捕捉 中間テスト			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
【特記事項】 授業内容により実技の追加や複数回で学習する内容に関しては変更もあるため授業コマシラバスを参考にしてください。							

科目名 (英)	保育実習指導Ⅰ Guidance for Institution Practical	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	上條 友葉
学科・コース	保育士科	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 幼稚園教諭として担任業務、実習生指導に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 保育現場にて実習生指導の経験を持つ講師が実習の準備・実施・振り返りをするために必要な知識や技術を身に付け、実りある実習になるための授業を行う。実習は子どもに直接接することの出来る機会であり、保育士の仕事を実際に体験できる貴重な機会でもある。保育の仕事の喜びを実習で実感するために、十分な準備を経て安心して実習し、効果のある振り返りを行って欲しい。							
【到達目標】 ①保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。 ②観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める。 ③既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ。 ④保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。 ⑤保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「学生・養成校・実習園がともに学ぶこれからの時代の保育者養成・実習ガイド」				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 実習全般について理解する事ができ、実習Ⅰ（保育所）についてイメージする事ができる。 【授業内容】 実習オリエンテーション 具体的な事例を基に、実習に向けて準備を始める			9	【到達目標】 実習に向けての思いをクラスメイトと共有し、実習に向かう気持ちや目的を高めることができる。 【授業内容】 グループワーク、決意表明		
2	【到達目標】 実習の目標を立てることができる。 【授業内容】 実習の目的・実習課題の検討			10	【到達目標】 実習を振り返り、10日間の学びを整理する。 【授業内容】 実習の自己評価・個人の振り返りワークシートの作成		
3	【到達目標】 実習における留意事項を理解し、気構え心構えができる。 実習日誌の取り扱いを理解し記載することができる。 【授業内容】 実習における留意事項、実習日誌の記載			11	【到達目標】 グループワークを通じて実習を振り返り、学びの共有を図る。 【授業内容】 実習の振り返りをグループワークで行い、課題や今後の努力目標について明確にする。		
4	【到達目標】 実習日誌について理解し、記入方法を獲得し模擬記入ができる。 【授業内容】 時系列の記入方法を理解する。エピソード記録について理解し、保育所保育指針を照らして保育を理解する視点を身につける。			12	【到達目標】 グループワークでの実習の振り返りまとめ、発表することができる。 【授業内容】 各グループの実習の振り返りについて共有する。		
5	【到達目標】 実習日誌について理解し、記入方法を獲得し模擬記入ができる。 【授業内容】 時系列の記入方法を理解する。エピソード記録について理解し、保育所保育指針を照らして保育を理解する視点を身につける。			13	【到達目標】 施設実習の意義・目的を理解し、分野理解を深めることができる。 【授業内容】 施設実習の意義・目的、施設調べ		
6	【到達目標】 社会人としてのマナーを理解し、実習の気構え身構え心構えができる。 【授業内容】 社会人マナー講習			14	【到達目標】 施設実習の意義・目的を理解し、分野理解を深めることができる。 【授業内容】 施設実習の意義・目的、施設調べ		
7	【到達目標】 社会人としてのマナーを理解し、実習の気構え身構え心構えができる。 【授業内容】 社会人マナー講習			15	【到達目標】 施設実習に向けての配慮事項を理解し、実習にあたっての課題や目標を考えることができる。 【授業内容】 施設実習における配慮事項、実習課題・目標		
8	【到達目標】 実習に向けての思いをクラスメイトと共有し、実習に向かう気持ちや目的を高めることができる。 【授業内容】 グループワーク、決意表明			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価（特別補講を実施）			
【特記事項】							

科目名 (英)	図工 Arts and crafts education	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	川口 麗
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 月曜 1・2限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
美術科修士課程修了。美大予備校、カルチャー教室、自宅アトリエ、幼稚園アート教室にて、大人や子どもの創作活動に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、子どもの表現力や創造力を育むための基礎知識を学ぶ制作演習である。 美術教育の立場から、現状や観点を伝える。							
【到達目標】							
・発達段階に応じた絵画造形の基礎を学び、創作活動を適切に指導する技術を身に付ける。 ・材料や画材の知識を深め、表現に適した選択ができる。 ・表現の楽しさを学び、伝えることができる。他者の表現に寄り添うことができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 教員の指示に従い準備をすること(スケッチブック、画材など)				【授業外における学習】 想像力を広げたい。日常の中で興味深く観察する視点を持ち制作に活かす。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 幼児の表現に関心を持ち、画材の種類を知る。クリニカルアート、アートセラピーについて知る。 【授業内容】 講義 「前期の振り返り。作品紹介。臨床美術分野での活動意義。」			9	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習 「アクリル画」		
2	【到達目標】 パネルシアター、スケッチブックシアター、マジックシアター、動く工作について知る。 【授業内容】 講義 「作品紹介。講師による実演。」			10	【到達目標】 パネルシアターの特性を理解し、制作する。 【授業内容】 演習 ①パネルシアターの台本決定、下描き。		
3	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習 「絞り染め」			11	【到達目標】 パネルシアターの制作に取り組むことができる。 【授業内容】 演習 ②下描き、色塗り。		
4	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習 「飛び出すカード」			12	【到達目標】 子どもの視点を考えながら、色彩豊かにパネルシアターの制作に取り組むことができる。 【授業内容】 演習 ③色塗り。		
5	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習 「変わり絵、マジックシアター」			13	【到達目標】 子どもの視点を考えながら、色彩豊かにパネルシアターの制作に取り組むことができる。 【授業内容】 演習 ④色塗り。		
6	【到達目標】 紙ねんどの特性をふまえ、材料と技法を知る。 【授業内容】 演習 「紙ねんど制作」			14	【到達目標】 子どもの視点を考えながら、色彩豊かにパネルシアターの制作に取り組むことができる。 【授業内容】 演習 ⑤色塗り、裁断、パーツの完成。		
7	【到達目標】 デッサンとコラージュを組み合わせ、幼児向けに制作する過程を知る。 【授業内容】 演習 「果物のデッサンコラージュ」			15	【到達目標】 丁寧にパーツを仕上げ、パネルシアターの制作に取り組むことができる。 【授業内容】 演習 ⑥パーツの完成、演じ方の練習。		
8	【到達目標】 道具と技法を知る。アートセラピーを体験する。 【授業内容】 演習 臨床美術課題「色のアラベスク」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 他者の表現に興味を持ち観察してみよう。							

科目名 (英)	音楽 Music	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	浅子 元・柿沼 秀子
学科・コース	保育士科	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 月曜 1・2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育士養成校にて23年のピアノ・音楽指導を行う。また保育園にてリトミック指導を15年行う。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
長年の音楽(ピアノ)教育の経験から、ピアノ・歌唱のほか、リトミック、打楽器演奏、オペレッタを2002年から専門学校にて指導している。 本科目は、音楽的基礎力(楽典)に注力し保育者として必要とされる音楽技術を学ぶ。基本、毎回の授業でピアノの練習とレッスンを行う。バイエルピアノ教則本の80番までを仕上げる。							
【到達目標】							
・保育者、教育者として必要な基礎的な音楽の技術と理論を習得する。 ・「ピアノを使って楽しく音楽が指導できる人を養成する」を授業の目標とする。 ・バイエルピアノ教則本80番まで。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「こどものうた200」チャイルド社 ・「標準バイエルピアノ教則本」全音楽譜出版社				必要な事項は次回の授業までに充分習得しておくことを求めます。ピアノは毎日少しでも練習を積むことが必要です。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 オリエンテーションを行い後期の到達目標を理解する。前期試験の振り返り。生活の歌「さよならのうた」の習得。 【授業内容】 後期の授業のオリエンテーションを行い、年度末の自分の到達点をイメージできるようにする。「とんぼのめがね」。			9	【到達目標】 ピアノ曲の練習と習得をする。 【授業内容】 ピアノ練習曲(バイエル)を進める。「あわてんぼうのサンタクロース」、「ジングルベル」。		
2	【到達目標】 バイエルピアノ教則本の習得。 【授業内容】 「バイエルの作品」を1曲しっかり仕上げる。「世界中のこどもたちが」。			10	【到達目標】 保育の音楽活動の疑似体験をする。 【授業内容】 保育の一場面を想定したロール・プレイングができる①。「お正月」。		
3	【到達目標】 生活の歌の習得をする。「おはようのうた」、「あさのうた/D」。 【授業内容】 「生活のうた」を1曲ずつしっかり仕上げる。「おはようのうた」を弾き歌いできるようにする。「どんぐりころころ」、「まつぼっくり」。			11	【到達目標】 保育の音楽活動の疑似体験をする。 【授業内容】 保育の一場面を想定したロール・プレイングができる②。「まめまき」。		
4	【到達目標】 季節の歌(秋)の習得をする。 【授業内容】 「秋の季節のうた」を練習し1曲弾き歌いが出来るようになる。「やきいもグーチャーバー」、「大きなくりの木の下で」。			12	【到達目標】 定期試験を展望しピアノ曲の練習と習得をする。 【授業内容】 ピアノのレッスンと試験対策。「うれしいひなまつり」。		
5	【到達目標】 正しい発声と音程の理解が出来る。 【授業内容】 歌唱:正しい発声と音程で歌うことが出来る。「きのこ」。			13	【到達目標】 季節の歌(冬、春)を習得し、1曲弾き歌いが出来る。 【授業内容】 弾き歌い曲の練習とレッスンと試験対策。「思い出のアルバム」、「春がきた」。		
6	【到達目標】 生活の歌の習得をする。 【授業内容】 1年生のうちに生活の歌を6曲完成させる。今日で5曲完成する。「どんぐりころころ」、「たきび」。			14	【到達目標】 後期定期試験の準備。 【授業内容】 試験曲の練習をして定期試験に備える。「一年生になったら」。		
7	【到達目標】 ピアノ曲の習得、季節の歌(秋)の練習をする。 【授業内容】 今練習しているピアノ曲を仕上げる。秋の歌の練習をする。「森のくまさん」、「ゆき」。			15	【到達目標】 定期試験により1年間の到達状況を理解する。歌に合わせて季節の歌がピアノで演奏できる。 【授業内容】 後期で学習したピアノ曲1曲。後期で学習した季節の歌を1曲ピアノ演奏(他の学生がピアノに合わせて歌う)。合計2曲を演奏する。課題曲9曲の中から1曲選ぶ。		
8	【到達目標】 中間試験を行い、前期前半の到達度を理解する。 【授業内容】 「季節のうた」を1曲仕上げいつでも弾き歌いができるようになる～秋の歌～。「たきび」。			【評価について】 実技試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	英会話 English Conversation	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	海老原 孝一
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 金曜 2・3限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】 公立の小中学校で教育職員をした後、海外の日本人学校や幼稚園で18年間教育・運営に携わり、帰国後、2017年から東京福祉専門学校で保育科の学生を指導、2023年からは埼玉福祉保育医療専門学校の保育科で英会話(2025年度は夜間の教育原理も)の授業を担当している。							
【授業の学習内容】 簡単な日常英会話や保育園・幼稚園で使われる英会話、英語のゲーム、バイリンガル絵本の制作、英語劇、英語の歌と合唱、季節の行事(クリスマス等)、英語のパンフレット作り、海外の保育・幼児教育について、シュタイナー教育の制作等を主に行う。							
【到達目標】 ・外国語学習を通して、異言語や異文化への理解を深め、異文化に対する抵抗意識が少なくなる。 ・日常会話および児童福祉分野に関する基礎的な英会話力を習得する。 ・外国語学習や活動を通して、異なったものを認め、それを受け入れる態度を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】 必要資料は授業時に教員が配付する。				【授業外における学習】 予習や復習、資料準備などを事前に連絡する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 英語の劇と 撮影	【到達目標】 レストランで使う基本的な英会話を知り、グループで工夫して台本を作り、協力して5分間の劇・動画撮影ができる。 【授業内容】 レストラン英会話の台本作り、練習、リハーサル、本番と撮影をグループごとに行う。			9 制作 中間テスト	【到達目標】 実習で使える「自己紹介グッズ」を制作しよう。 【授業内容】 ①実習で使える「自己紹介グッズ」を制作します。 ②必ずバイリンガル版の作品にします。 ③みんなの前でやってみよう。 Sakuhinto		
2 英語の劇と 撮影	【到達目標】 レストランで使う基本的な英会話を知り、グループで工夫して台本を作り、協力して5分間の劇・動画撮影ができる。 【授業内容】 レストラン英会話の台本作り、練習、リハーサル、本番と撮影をグループごとに行う。			10 保育英語 歌	【到達目標】 保育・幼児教育に関わる英語の単語・表現を知る。 【授業内容】 保育・幼児教育に関わる英語の単語・表現のプリント学習、活動をする。		
3 英語の劇と 撮影	【到達目標】 レストランで使う基本的な英会話を知り、グループで工夫して台本を作り、協力して5分間の劇・動画撮影ができる。 【授業内容】 レストラン英会話の台本作り、練習、リハーサル、本番と撮影をグループごとに行う。			11 パンフレット 作成	【到達目標】 バイリンガル版パンフレットを作成しよう。 【授業内容】 ①英語＋日本語または他言語版のパンフレットを作成する。 ②地域紹介・その他について、発見があるような作品を工夫して作る。 ③作成したものをもとにクラスで発表をします。		
4 保育英語 歌 予備時間	【到達目標】 3回目までの授業で撮影が終わらない場合はこの時間を呼び時間にします。 保育・幼児教育に関わる英語の単語・表現を知る。 【授業内容】 保育・幼児教育に関わる英語の単語・表現のプリント学習、活動をする。			12 パンフレット 作成	【到達目標】 バイリンガル版パンフレットを作成しよう。 【授業内容】 ①英語＋日本語または他言語版のパンフレットを作成する。 ②地域紹介・その他について、発見があるような作品を工夫して作る。 ③作成したものをもとにクラスで発表をします。		
5 異文化理解	【到達目標】 ヨーロッパの幼児教育について知ろう。 【授業内容】 ①ヨーロッパの文化・保育や幼児教育について知る。 ②文化を知ることによって、言語の成り立ちを学ぶ。			13 パンフレット 作成	【到達目標】 バイリンガル版パンフレットを作成しよう。 【授業内容】 ①英語＋日本語または他言語版のパンフレットを作成する。 ②地域紹介・その他について、発見があるような作品を工夫して作る。 ③作成したものをもとにクラスで発表をします。		
6 異文化理解 制作	【到達目標】 シュタイナー教育の「スタンドグラス」を作成する。外国の文化を理解する。 【授業内容】 ①各自、はさみとのりを準備してください。のりはスティックタイプが良いでしょう。 ②小さなガラスの器、ご家庭にありますか？ ③テールヒート(カップ用のろうそく)を入れると素敵です。			14 定期テスト・ 翌週の準備	【到達目標】 バイリンガル版パンフレットを作成しよう。 【授業内容】 ①英語＋日本語または他言語版のパンフレットを作成する。 ②地域紹介・その他について、発見があるような作品を工夫して作る。 ③作成したものと発表が定期テストになります。		
7 クリスマス カード	【到達目標】 クリスマスカードを英語で書くことができる。サンタクロースに手紙を書く。 【授業内容】 ①お子様の絵やご家族の方の手紙の同封も可能です。 ②書きなれたペンやお好みのレターセットをご用意ください。折り紙も可。 ③カナダのサンタは今までの経験からほぼ100パーセント返事が来ます。			15 クリスマス 会お別れ会	【到達目標】 クリスマス会に楽しく参加・活動できる。 【授業内容】 ①リーダーさん、司会の方を中心に進めて頂きます。 ②昨年はクリスマスソング《合唱》を歌いました。 ③ゲームやビンゴ・プレゼント交換をしました。		
8 制作	【到達目標】 実習で使える「自己紹介グッズ」を制作しよう。 【授業内容】 ①実習で使える「自己紹介グッズ」を制作します。 ②必ずバイリンガル版の作品にします。 ③みんなの前でやってみよう。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数 100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 受講者の状況に合わせて、内容や学習の順番を変更する場合があります。							

科目名 (英)	情報リテラシー Literacy for information	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	村田 和也
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 月曜 3限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 人材サービス企業にて保育園・放課後児童クラブでの人事労務経験を6年。保育士科教務を12年(現学科長)。 【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 保育業界における情報リテラシー及びセキュリティに精通する教員が、保育現場に出る上で修得しておくべきITの基礎知識やモラルを保育業界と連携を図りながら学んでいく。また、基礎的なOAスキルを学ぶことで、保育士として効果的にICT活用できる実践力を身につける。							
【到達目標】 ・保育現場で勤務する上で必須となるICT機器取り扱いの方法とその注意点を理解することができる ・Office365のソフトを有効に活用し、プレゼンテーションやレポートの作成を行うことができる							
【使用教科書・教材・参考書】 ITリテラシーDXリテラシー				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 学校内におけるITリテラシーを理解する① 【授業内容】 Microsoft Office365 Teamsの基本的操作とルールを理解する 学生ポータルサイト、Forms、SharePoint			9	【到達目標】 保育現場におけるICT② 【授業内容】 コドモン 保育業務効率化の為にICT		
2	【到達目標】 学校内におけるITリテラシーを理解する② 【授業内容】 キャリアサポートアンケートの実施 学習能力テストの実施			10	【到達目標】 保育実習システムの概要を知る 【授業内容】 富士フイルムシステムサービス		
3	【到達目標】 自己紹介プロフィールシートを作成する 【授業内容】 Wordの規定フォーマットを用いて自己紹介シートを作成する。			11	【到達目標】 Word 【授業内容】 クラスだよりを作成する①		
4	【到達目標】 保育現場における情報セキュリティ 【授業内容】 ITリテラシー理解度テスト、生成AIの有効活用			12	【到達目標】 Word 【授業内容】 クラスだよりを作成する②		
5	【到達目標】 保育現場におけるICT① 【授業内容】 保育実践事例(Gakken保育園)			13	【到達目標】 PowerPoint 週1登園ワークシートを反映したプレゼンスライド作成① 【授業内容】		
6	【到達目標】 SNSを用い効果的な保育園(学校)PRができる① 【授業内容】 授業アンケート			14	【到達目標】 PowerPoint 週1登園ワークシートを反映したプレゼンスライド作成② 【授業内容】		
7	【到達目標】 SNSを用い効果的な保育園(学校)PRができる② 【授業内容】			15	【到達目標】 PowerPoint試験 前期試験 【授業内容】 前期試験		
8	【到達目標】 前期中間テスト PR動画発表 【授業内容】 前期中間テスト			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	総合福祉技術 Basic Nursing Care	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	高橋 亜希子
	学科・コース 保育士科	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 金曜 2・3 限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 特別養護老人ホームに併設されている「デイサービス」の勤務を経て、現在は「リハビリテーション病院」で看護助手として従事。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 介護の基礎を学び、介護技術を習得する。また、学んだ内容を実際の「演習」で確認し、身体機能や状態に合わせ、お互いの「安全、安楽、安心、自立、尊厳」を心掛けた介護技術の習得する授業を行う。							
【到達目標】 常に「利用者様」の立場に立って「支援」できるようになり、自ら進んで行動することができ、「介護支援」は、身体介護をするものだけではないことが理解できる。							
【使用教科書・教材・参考書】 動きやすい服装 室内履き 髪の毛・爪など介護支援に相応しい身だしなみを整えて出席すること。				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 お互いの自己紹介を行うことで、コミュニケーションを図る。 【授業内容】 オリエンテーション 授業の進め方と評価の方法についての説明を行う。 介護のイメージを教えてください。			9	【到達目標】 ボディメカニクスを意識した「起き上がり」の介助を習得することができる。 【授業内容】 起き上がりの介助・・・常に声掛けを意識し、「臥床」⇒「座位」⇒「立位」の手順を習得する。		
2	【到達目標】 環境整備の意味を理解し、効率的なベットメイキングとシーツ交換の手順を習得することができる。 【授業内容】 環境整備とベットメイキング・・・ボディメカニクスをいかした介護技術を習得するために、シーツ交換の際の体の動かし方を意識する。			10	【到達目標】 ボディメカニクスを意識した「歩行」の介助を習得することができる 【授業内容】 移動と移乗の介助・・・ボディメカニクスを意識した「歩行」の介助を習得することができる		
3	【到達目標】 「声掛け」を意識することで、「安全、安心、安楽、自立、尊厳」を理解することができる。 【授業内容】 ベット上に利用者様が臥床したままのシーツ交換・・・声掛けを意識して、いろいろな体位を覚えながらシーツの交換を行う。			11	【到達目標】 ボディメカニクスを意識した「移乗」の介助を習得することができる 【授業内容】 移動と移乗の介助①・・・ボディメカニクスを意識した「車いすへの移乗」の介助を習得することができる		
4	【到達目標】 「脱健着患」を理解することができる。 【授業内容】 衣類の着脱①・・・座ったままの状態で利用者様の「衣類の着脱」を行う。(上着のみ)			12	【到達目標】 声掛けを意識した介助を行うことで、より現場に適した技術を習得することができる。 【授業内容】 移動と移乗の介助 ②・・・ボディメカニクスを意識した「車いすへの移乗」の介助を習得することができる		
5	【到達目標】 声掛けを意識した「着脱」を行うことができる。 【授業内容】 衣類の着脱②・・・ベットに寝たままの状態で利用者様の「衣類の着脱」を行う。			13	【到達目標】 声掛けを意識した介助を行うことで、より現場に適した技術を習得することができる。 【授業内容】 実際の「利用者」がいることを意識しながら「移乗の介助」を行う		
6	【到達目標】 色々な形状の衣類の「着脱方法」を習得することができる。 【授業内容】 衣類の着脱・・・③・・・座ったままの状態で利用者様の「衣類の着脱」を行う(上下) 被りの衣類			14	【到達目標】 学習内容を振り返ることで、自分に足りない技術を確認することができる。 【授業内容】 「期末テスト」へ向けての振り返り		
7	【到達目標】 学習内容を振り返ることで、自分に足りない技術を確認することができる。 【授業内容】 「中間テスト」へ向けての振り返り。			15	【到達目標】 期末テスト		
8	【到達目標】 「中間テスト」を行うことで、前期の学習理解の状態を知る事ができる。 【授業内容】 「中間テスト」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
【特記事項】							